

一 ストライキの如き日常闘争に於て同一産業の労働組合が積極的にならざればならぬ  
 二 労働組合の発展を以て産業別組合の根本的基礎を確立すること  
 三 労働組合の発展を以て相件はしむること  
 四 各産業に於ける地方的及全国的労働会を作り一方産業別合同を促進し、他方に各産業労働者の共同戦線を確立すること

**産業別版**

第一回中央委員会に於ては左記の方法に依りて各産業別に産業別版を發行することと決定した。  
 一 毎月一回、定期機関紙の第四頁目を産業別欄とし、その編輯、充実は、産業別編輯委員が擔當する。  
 二 漸くは全産業に於ては、九月五日の第一回全編版を發行したか、當時未だ、各組合の産業別整理も行はずはれて居り、且つ産業別編輯会も完全にならなして居たため、その成績は良好ではなかつた。依りて是は一時中止し、十月十日に於ける全国労働会に於て、更めて、毎月一回を業合機関紙、一回を産業別版として、産業別版は労働会に於て独立に編輯發行することになつて、業

不覚一頁を差し、第一回中央常任委員会及第三回中央常任委員会に於て、新編編輯局を成立するまで、産業別版の發行を停止することとした。  
 又印刷産業に於ては、従来から發行して来た、印刷の時代を産業別版の編輯版として採用することとし、今日に及んで居る。

**総聯合運動**

吾が労働者は資本の攻撃に對して、分枝せる労働階級の戦線の統一を最大の義務とし、機關紙其他を通じて常に、全國總合総聯合形成を提唱して来た。而して総聯合創立大会に於ては、その過程として先づ地方労働会の樹立を決定し、努力して来た。而して東京、大阪、神戸、京都、名古屋、中国を初め各地に組合会議又は、労働会が樹立されたが、これ等労働会樹立に對する吾らの努力は、主として労働階級の一般的問題即ち失業、政党、労働法制定等の問題の共同戦線の努力が不充分であつた。ために労働会が、單なる労働機關の存在に至し行動の指導機關となつて居ない。この欠に負付いた吾々は、第一回総大